



壬生町政だより

住民登録人口

	昭和42年1月1日現在	対前月比
総人口	24,189人	51人増
男	11,923人	30人増
女	12,266人	21人増
世帯数	5,060世帯	19世帯減

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行) 昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部4円70銭



誠意と勇気をもって
成人の仲間入り

壬生町の成人式

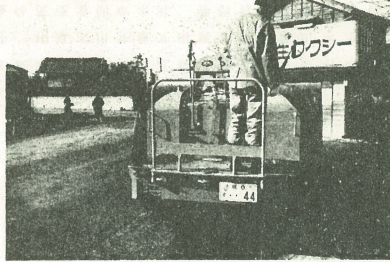
壬生町の成人式は、1月15日午前10時から中央公民館で行われました。今年の成人者は戦後間もない昭和21年1月16日～22年1月15日までに生れた人たちです。

全国では165万人にのぼるといわれますが、壬生町の成人者は男266人、女279人で合計545人でした。

式後、代表者6名の方に成人になった感想を聞いてみますと、「くじけぬ勇気と誠意をもって、社会人としてはすかしくない態度で進みたい」また選挙権が認められたので、来る29日の衆議院議員総選挙にはどのような人を選びますかの間に「人物本位です」と答えています。

町道二カ所の 舗装が完成

▽町道壬生駅今井線、壬生駅 多い所でした。から公井に通ずる町道この
ほど完成いたしました。延長 までこの道もこのは
二七〇メートル、由良二、と完成しました。延長二
五九メートル、工事費は八、二三メートル、由良四、五
十方、千七百円で、これは五、八メートルで工事費は
生駒前線から武藤油店前まで
で、この道は駅から上表町、
藤井、壬生高校へ通ずる道路
です。交通の便は、個所
雨天時には水が溜って不便の
写真 城東町通り



楽しいクリスマス 三保育所で

十二月二十三日午前 第一保育所へ
十時から、町内三カ所 ◇クリスマス・ツリー
に有る保育所で、恒例の飾り電球、和久井明
のクリスマスが行われ(城内)◇チョコ菓子予
備、チョコケーキ予
当日は、父兄の方々 包、鈴木昭(城東三
も参加して、お父さん ◇フーセンの他、二
お母さんの見守る中、八個、小島牛乳店(三
オマース・ツリーの飾り、好町)◇サタのお面
「魔法使いと子供達」 キヤメラ、(〇個)半
や「金魚のひるね」等、井原書店、栄町、他三
の歌、遊技、劇などを、人形三、ボリソング
して、楽しい一日をす 一組、六川和衣(下
ごしました。
また、町長さんから 第二保育所へ
お菓子のプレゼントが ◇クリスマス・ツリー
あり、町内の有志から ント用長、ツ、至、他三保
は、次のような贈物が 護者会、(基、千七百円)
◇飯塚新作(安塚、)



写真一クリスマス風景(第一保育所)

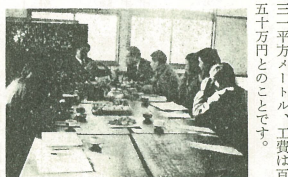
第三番目の集荷所

壬生町園芸組合連合会

日光イチゴの出荷組合で知ゴの出荷時に遠くで悪路をゆ
られては壬生町園芸組合連 ならぬから出荷するので、商
合会(会長長橋隆雄氏)では、品にキズがつかぬように集
七ツ石に第三集荷所を建設中、荷所を、要望されて、いた
のところ、十月十九日に落成に披露をみたもので、
成しました。
ここの集荷所は第一(壬生) 十名、作付面積は約十ヘクタ
第二(上福集)に次ぐ第三番 ールです。集荷所の敷地面積
目のもので、地域会員がイチ 六六〇平方メートル、建坪二
三二平方メートル、工費は百 五十万円とのことです。



写真二第三集荷所



写真三米作りを聞く

米つくり日本一に聞く

一 稲葉 青年学級 一
稲葉地区青年学級では十二 向上と今後の農業盛況などに
月五日稲葉公民館で聞き、米 ついで熱心な話し合いが持た
作り日本一、柳木興一、で有名 されました。
な鹿沼市の奈良野氏を講師 として招き、稲作技術の進歩

援護家庭などに配
分歳末募金
歳末なごみについて
は町民みなさんの温い同
情により、本町の児童
家庭や長年、病弱生活者の方
々が明らか正月を迎えをこ
うとすることが出来た。厚くお礼
申し上げます。
また、見物客も沢山町
(東京)さんをはじめ町
の方々より二百有余名が寄
贈されましたので、併せて
配分いたしました。
歳末なごみあひ募金状況
合計二十九万四千六百十八
円
(内訳)
▽壬生地区部募金七千七百
十五円▽稲葉地区同二万七
百二十五円▽南犬飼地区同四
万一千八百三十五円
▽東京親友会二万一千六百
円▽町議会議員一万五千円
▽青柳治さん一千四百円
△助成費一万円▽王治社
△福祉協議会一万円▽あし
たか養護センター職員
一同千八百九十六円▽役
場職員千四百五十円
配分状況
合計二十九万四千六百十八
円(内訳)
▽在町養護家庭配分百五十五
一世帯千八百八十二円▽
各施設入所関係者ほか千
六千四百八十八円

年金額が二・五倍に引きあげ

国民年金

昭和三十六年四月、拠出制、に、生活水準に合せて保険料、せ、給付水準の大幅な引きあ
(かけ金)年金額が実定され、 年金額など再計算する仕組に げを中心し制度が改定されま
今年で五年になります。 なっています。 した。あらましは次のとおり
国民年金は、その時々に応 今年ば再計算の時期です。 です。
じた年金額を支給できるよう、今までの生活水準の向上に合

改正後	改正前
◆老 年 金 (25年納付の場合) 60,000円(月額5,000円)	24,000円(月額2,000円)
(40年納付の場合) 96,000円(月額8,000円)	42,000円(月額3,500円)
(年金額の計算は、納付済1年に付2,400円の割です。但保険料免除の場合、免除期間は半の額になります。)	
◆障 害 年 金(最低保障額) 60,000円(月額5,000円)	24,000円(月額2,000円)
◆母子、準母子年金 (子2人の場合最低保障額) 60,000円(月額5,000円)	24,000円(月額2,000円)
◆遺 児 年 金 30,000円(月額2,500円)	12,000円(月額1,000円)
◆保 険 料 月 額 200円 月 額 250円(35才から)	月 額 100円 月 額 150円(35才から)

昭和42年1月から実施になります。

老令年金の受給資格を失いま す。ご注意を

特に三十五才以上の人 満たされている。
国民年金の老令年金を受ける 3. 保険料免除期間で満たさ
資格は、生年月日によって、 れている。
六十才までに右別表にのめし 例えば
大正十年五月生れの人
は、大正十年五月生れの人
は、一生年金を受ける資格を失
う。最低の資格期間は、十六年
です。いいかえれば、昭和五
十六年四月(六十才)に到達す
る年月)までに、十六年の期
間が必要で、したがって、
除料免除期間で、それぞれ
間が必要で、したがって、

被保険者の生年月日	老令年金受給に必要期間	60才に到達する年	期間を満了するための納付開始最終年月
大 4.4.2~大 5.4.1	10年	昭和50.3~昭和51.2	昭和40.4~41.3
5.〃〃~6.〃〃	11	51.〃~52.〃	〃
6.〃〃~7.〃〃	12	52.〃~53.〃	〃
7.〃〃~8.〃〃	13	53.〃~54.〃	〃
8.〃〃~9.〃〃	14	54.〃~55.〃	〃
9.〃〃~10.〃〃	15	55.〃~56.〃	〃
10.〃〃~11.〃〃	16	56.〃~57.〃	〃
11.〃〃~12.〃〃	17	57.〃~58.〃	〃
12.〃〃~13.〃〃	18	58.〃~59.〃	〃
13.〃〃~14.〃〃	19	59.〃~60.〃	〃
14.〃〃~15.〃〃	20	60.〃~61.〃	〃
15.〃〃~昭和2.〃〃	21	61.〃~62.〃	〃
昭和2.4.2~3.〃〃	22	62.〃~63.〃	〃
3.〃〃~4.〃〃	23	63.〃~64.〃	〃
4.〃〃~5.〃〃	24	64.〃~65.〃	〃
5.〃〃~6.〃〃	25	65.〃~66.〃	〃
6.〃〃~7.〃〃	25	66.〃~67.〃	昭和41.4~42.3



お知らせ

目標突破の共同募金

昭和四十一年の共同募金が町民みなさんの温かい協力により次の通り、目標額を突破して終了しました。厚く御礼申し上げます。

壬生町の目標額 四十四万五千六百円
千六百円
募金額 四十六万五千五百三十三円、目標額の一〇三・一％
(内訳)
▽壬生地区部募金二千二百六十六円
▽稲葉地区部募金八万九千八百八十円
▽南大岡地区部募金十一万二千四百二十円
▽街頭募金四万五千六百四十円
合計四十六万五千五百三十三円

所得税の確定申告書を提出する方の住民税と事業税の申告

従来三月十五日までに所得税の確定申告をする納税者に対しては、税務署から所得税の申告書と、事業税の三つの町民みなさんの温かい協力、申告書が納税者に送られ、納税相模合場で申告手続きをしました。

しかし税法が昨年三月三十一日に改正され、今後所得税の確定申告をする方は町民税、事業税の申告は不要になりました。

確定申告を要しない方の町民税及び事業税の申告書の提出は従来と変わりません。また町民税、事業税の申告期限は所得税と同様に三月十五日に改正されました。

インフルエンザの予防

寒さのきびしい今日此の頃です。特にカゼには注意を要します。インフルエンザにかかりますとなかなか直りません。
インフルエンザはビールスによる伝染病です。町では毎年予防接種を行っています。ご家族で各人が予防

することが大切です。次のことに注意下さい。
○インフルエンザの予防接種をけしめよう。
○悪寒寒をけしめよう。
○睡眠を十分とる。
○外出から帰った時はよく手を洗い、ウガイを忘れないこと。

二月の心配こと無相談

- 第一火曜日 七日 中央公民館
 - 第二火曜日 十四日 稲葉公民館
 - 第三火曜日 二十一日 中央公民館
 - 第四火曜日 二十八日 南大岡公民館
- 第一火曜日には行政相談も併せて開設されます。(時間はいずれも十時～三時まで)

総代さんの交代

稲葉地区の一部の総代さんが一月一日より交代になりました。▽釜ヶ淵 出井正一郎▽原坪 小島道善▽下町 川島良作▽上町 伊藤大七

二月の納税

固定資産税 第四期

下稲賀漁業組合壬生支部では鯉の稚魚を次の場所に放流しました。小倉川砂利場に九千尾、下河津四百五十尾、江川の三好橋五百尾、壬中ブールへ二千尾です。

スキー教室開設

壬生町教育委員会では初級中級者向けのスキー教室を次におこないます。多数ご参加ください。
◇期日 二月六日(月)～七日(火) 一泊二日
◇場所 日光湯本スキー場
◇講師 全日本スキー連盟公認指導員一名
◇参加料 千三百円(宿泊雑費を含む)

スキー会員募集

期日 二月二十六日(日)
場所 日光湯本スキー場
◇会費 五百五十円
◇申込み切 二月十五日(日)まで
定員は五十名、会費を添えて次へお申込み下さい。

鯉の稚魚を放流

下稲賀漁業組合壬生支部では鯉の稚魚を次の場所に放流しました。小倉川砂利場に九千尾、下河津四百五十尾、江川の三好橋五百尾、壬中ブールへ二千尾です。



江戸時代の壬生

沼に至る近道で公式の日光社参の往路は本街道を帰路は近道(この西街道を通った。不祥の時の通路にもなった。この街道は別名をおかき街道ともいひ、昔は日光近くのように立派な杉並木があり、今も江戸(二三十里)の里塚が表町にのこっている。お成り街道と例幣使街道とを間違へる者が例幣使街道は京都から日光への勅使の通る道でこの通路は本州中央部を走る中河岸の持ち舟をあげると、川同六艘中河岸(源助) 五左衛門、同 二艘宮下河岸 庄藏、同六艘 清水河岸半之丞、同六艘表 同六艘中河岸(權右衛門) 町下河岸半十郎(權右衛門)



旧日光西街道 (現在小山一今市線)

計二十七艘であった(正徳明細帳による)。その後百数十年の歳月を経て現在本町内の各種自動車等の保有台数五千余に比べて全く今昔の感にたぬものがある。次に江戸中期の陸運について略記してみた。江戸時代の主要交通網は戸を中心に五街道(東街道、中仙道、甲州街道、奥州街道、日光街道)があつて壬町はこの日光街道の西街道に沿つた城下町であり宿場町であつた。西街道は小山から分岐して宇十八里、二十八里、笠岡十二里を通る本街道によらず鹿野十町(福田)